

「ハレスコ」命名者 上野 茉南さんの横顔 (岩手県)

4月にオープンした「平田村保健生涯学習施設」の愛称は“ハレスコ”。命名者は、岩手県の若い女性。今回は、上野茉南さんに聞いてみました。

Q 愛称募集を知ったきっかけは？

また、それまで平田村の事はご存じでしたか？

A 「来年（2023年）の春はどこに旅行しようかな」と思い調べていたら、芝桜の名所である平田村を見つけました。それまでまったく聞いたことがない場所でしたが、興味がわきHPを拝見したところ、愛称募集を知りました。

Q 「ハレスコ」という名前にした理由は？

A どの世代の方も、生き生きと自分らしくこの施設を利用しての様子を想像し、「はれやかな心で、すこやかな生活を送ることができるように」という願いを込めました。

Q 竣工式に出席されましたが、実際に平田村を訪れた感想は？

A インターチェンジもあるので、県内外でも訪れやすいというのが第一印象です。村長様をはじめ様々な方とお話をさせて頂きましたが、心から平田村の発展を願っていて、大好きな村の特色・魅力を伝えたいという思いが強いなとも感じました。

Q これだけは「伝えたい！聞いて欲しい！」事がありましたら、聞かせてください。

A ハレスコでのイベントを機に、交流人口が増えること、さらに活気のある村になることを願っています。また、平田村・ハレスコを訪れたいです。



Q どんなお仕事をされているのですか？

A 仕事は、学校案内・観光パンフレット・ポスター・WEBページ等などの企画・編集です。施設名を考えるなどのコピーライティングはほとんど経験がないので、ハレスコが初作品になるのでしょうか…？

今の職を目指して実家のある仙台を離れ、岩手県での生活を選んだので、日々充実していると思います。

自分の制作物が人々の行動や気持ちへ良い影響が与えられるように頑張りたいです！

次回6月7日(水) 議会定例会開催予定

傍聴の際は新型コロナウイルス感染予防に努め、アルコールによる手指消毒をお願いします。マスクの着用については、個人の判断とさせていただきます。また、分散化のため、役場1階ロビーと2階会議室での映像中継は引き続き行います。

議会は村の予算や身近な問題について話し合う大切な会議です。あなたも議会を傍聴してみませんか。

●詳しくは議会事務局まで ☎55-3558

編集後記

今、「平田村の農業が危ない！」大きく言えば「日本の食が危ない！」ことが、歴代政府の農業政策で明らかになりました。

先進国であるはずの日本が、アメリカへの農産物等の依存を柱に、コロナ禍・ウクライナ侵攻・異常気象・中国による食料の「爆買い」で「戦わずして負ける国」になっていると話す農業・経済等の専門家がいます。私も肌で感じています。

反面、日本の農業を守るうとする動きもあります。私たちは身近なところで営まれている農業を守り発展させなければなりません。

【三本松和美】

議会広報特別委員会

委員長 高橋 七重
委員長 荒川 英義
委員 三本松 和美
委員 永瀬 一成
委員 水野 彦彦